

会議名	第2回厚木市観光振興推進委員会
日 時	令和7年11月17日(月) 14時~15時
場 所	アミューあつぎ6階 ルーム609
出席者	出席者 11人 厚木市観光振興推進委員会委員7人 オブザーバー1人(一般社団法人厚木市観光協会専務理事兼事務局長) 事務局4人(商業観光課長、観光振興係長、商業観光課主査、商業観光課主任)

会議の経過は次のとおり。

1 開 会 商業観光課長

2 案 件

(1) 令和7年度事業の実施状況について

資料1に基づき説明。

【意見等】

委 員：あつぎOECフードのパンフレットについて、飲食系はホテル来客者にも人気がある。地方から出張等で来られる方は何が名物か楽しみにしている。そのような案内があると喜ばれる。

事務局：毎年作成しており今年度も作成予定である。来年3月に配布予定である。

委 員：当施設は伊勢原市観光協会と連携させていただいている。大山等のハイキング後のお風呂を探している方も多く、県央やまなみエリアの連携事業はありがたい。益々このような機会が増えていくことを期待している。

事務局：大山のハイキングコースでは伊勢原のこま山道が有名であるが、大山から七沢の方に下りてくるコースもある。そのハイキングコースの魅力を発信しながら七沢の旅館に宿泊していただく機会や駅周辺へ集客できる取組ができるよう検討していく。

委 員：熊出没の状況は市の方でも正確に把握しているのか。

事務局：担当課である農業政策課から関連する近隣市町村には情報共有されている。

委 員：虚偽の情報が流れていることもある。正確な情報発信をしてもらいたい。現状は問題ないか。

事務局：今のところ情報は入ってきていない。情報が入り次第ホームページ等で公開している。

委員長：神奈川県ホームページで熊の目撃情報等を掲載している。この地域はあまり増えていないが熊が存在することはみんな把握しているため世間や住民の方々が騒いでおり、観光に影響が出てくる可能性がある。厚木市でも熊注意報等の情報を何らかの形で提供することができれば安心して観光にお越しいただけるかもしれない。安全対策を徹底していることがわかるようにし、令和8年度の計画内容に入れても良いのではないか。担当課から情報を得て観光客に安心して観光に来てもらえるような展開になる方向で進めたらどうか。

事務局：担当課や関係団体と情報共有し連携を図っていく。

- (2) 令和8年度事業について
資料2に基づき説明。

【意見等】

委員：観光施設維持管理事業費の観光トイレの清掃について。飯山白山森林公園桜の広場付近にあるトイレについて、洋式が1つしかなく不便だと意見をいただいた。何年くらい前に建てられたものなのか。トイレ自体はすごく綺麗に清掃されているが、今の子どもたちは和式に触れる機会も少ない。和式が空いていても使用する方は少ないのではないか。

事務局：最近作られたものではない為和式が多い仕様になっているものだと思う。どのような形で改修工事していくか予算の中で検討していく。

委員：インバウンド推進事業費について、観光周遊ツアーということだが、厚木市内のツアーか。

事務局：本市の観光地である飯山七沢に続き、伊勢原市等県央やまなみエリアの内一つを含めた広域観光という形でバスツアーを実施する予定。今年度もツアー会社からコンペ方式でご提案いただいているため、御意見があれば含ませていただきたい。

委員：都心からのアクセスが良いので厚木市に宿泊するお客様は多いが、市内のどこにも立ち寄らず、宿泊だけで終わるためとてももったいないと感じていた。インバウンドも個人旅行が主流と言われているが、魅力を感じる観光名所があれば外出する傾向があるため効果的な魅力発信をしていく必要があると思う。

事務局：現在七沢と飯山の温泉旅館さんでどれだけ外国員旅行客が来ているか調査中である。旅館さんからもインバウンドをどれだけ取り入れていいかが課題と聞いている。我々もどのようにしたら来訪者を増やすことができるか検討する。

委員長：あつぎ鮎まつりについて、来年度から開催時期が秋に移行するということに関して予算に影響があるか。令和8年度は第80回記念大会のため盛大に開催されるのか。例年とは違う予算編成なのか。

事務局：来年度の第80回あつぎ鮎まつり事業については少し減額している。理由については、今年度厚木市制70周年記念事業であったことと、来年度は秋に移行することによる暑熱対策費の減額があるためである。今年度の協賛金等による資金もあり、来年度の財源に充当できる資金がある状況である。市からの予算は減額させていただいているが、相対的には増えている状況である。

また、来年度は第80回記念大会ということもあります、今年とは違い厚木の鮎を主体とし、原点に戻ったお祭りを楽しんでいただこうと事務局から提案している。鮎のつかみどりを拡大する等、鮎に原点を絞り、力を注いでいきたい旨提案している。また、飯山の方も力を入れて整備していきたいと考えている。良い点を活かしつつ、新しい試みを取り入れ、スクラップ&ビルトの精神で取り組んでいく。

広域観光の件について、県央やまなみ観光専門部会というものがあり、厚木市が部会長を務めている。県央やまなみ地域の5市町村で構成されている。来年はあつぎ鮎まつりが秋に移行したことにより、県央やまなみ5大まつりとして清川の

清流祭から愛川町のお祭りまで続いている。それを面でとらえて広く情報発信していく。推進委員の皆さんにも宣伝等にそれも含めて御協力いただきたいと考えている。

(3) 厚木市観光振興計画について

資料3に基づき説明。

【意見等】

委員長：前回計画策定したときより課が合併し、以前より広くなったが今回の計画策定をする上で、商業が含まれ視野が広がったことを意味するのか、第二次の観光のスコープのままで新しい計画を立てるのか。

事務局：新しい視点が加わったとお受け止めいただいて構わない。商業が加わったことで、観光客も商業で消費してもらうなど、それもまた魅力の一つになる可能性もあるため、あまり割り切らず、観光と商業が融合した形でお考えいただければと思う。

資料3 関係資料②に基づき説明。

【意見等】

委員長：アンケートについて、例えば年齢と性別や居住地を聞いているが、3,000人からランダムで選ぶのか。人口学者からの視点から見ると、少ないアンケートを答えた人たちの意見が過少評価されないようウエイトをかける。

1～4番までウエイトをつくるために必要なものなのか。それとも全員1票として集計をする予定か。市の年齢構成や性別を照らし合わせて過小評価するところと過大評価するところのウエイトをかけた上で市全体の傾向を確認するもののか。

事務局：無作為抽出をする予定だが、人口比率で絞っていく。人口と性別の比率を出して年齢別すべての世代が人口の比率にあったアンケートができるような状態を目指に実施する予定である。

委員長：専用webサイトで実施するとあるが、実現可能か。

事務局：他の自治体も仕様しているQRコードを読み取ればできるような共通フォームがあるため実現可能。

委員長：年齢がバリアになりにくい構造がきちんとされているという認識でよいか。

事務局：良い。出来上がったものについては、特定の世代の特定の方々に特化していることがわかるよう想定している。最後に改めて、意見書を案内させていただいている。回答期限を11月28日(金)とさせていただいている。期日までにメールまたはFAXで回答をお願いしたい。

(4) 観光振興に係る意見交換について

委員：このアンケートを確認して、厚木市で梨狩りができるのを知らなかった。

事務局：厚木市では苺、梨、葡萄、栗、ブルーベリー等が有名である。

委員：ホテルの朝食に厚木の地の果物等を取り入れるため実際に出向き試食をしていた。農園によって全然味が違う。美味しいのでは是非食べてみてほしい。

委 員：資料3についてのアンケートはどのような方法で配布されるのか。

事務局：市のホームページや市の公式LINE等で発信していく予定。紙でも作成し、各公民館等市の公共施設に設置する予定。

委 員：厚木市観光振興計画の主なる対象は厚木市民としているのか。

事務局：誘客をするための本市の魅力をどうやって表現したらいいかという計画も含まれている。市内外対象だが、厚木市を理解している市民の方からの意見はいただきたい。

委員長：観光理念の視点からだと、厚木市民の反対を押し切って観光推進・開発をするわけにはいかないので、厚木市民の許しを得て創出していく必要がある。

委 員：誘客は大事だが、近くに住んでいる方が訪れる回数は増す。そうすると商業の方で集客が高まる。

委員長：今まで関連人口には触れてこなかったが、観光施策に意味を持っている。関連人口が何人いたら厚木市民1人分の消費をしてくれるのか、人口施策について試してみるのも良いのではないか。

消費だけが目的で集客は難しい。厚木市に愛着を持ってもらうようにする。

厚木市でも強いスポーツチームなどがあり、市外在住だが毎週決まった曜日に厚木市内で練習する方なども多い。定期的に厚木市に来てくれるでのスポーツ観光にも力を入れてみても良いのでは。

委 員：新東名高速道路のインターチェンジができたお陰で、小田原方面で試合がある方が厚木市に宿泊することが増えた。ただ、宿泊はするが目的は厚木市ではない方が多いので、厚木市で目的を持ってもらうよう今までとは違う展開ができると良いのではないか。

事務局：今の御意見等を参考に、まだ厚木市の魅力はあるかと思うので厚木市の魅力を発掘してアクティビティに広げていければと思う。

3 そ の 他 特になし。

4 閉 会